

平成29年度 キャリア科目一覧

学部・研究科	配当年次	開講学期	科目名	授業形式	曜日・時限	担当教員氏名 (代表教員)	備考	ナンバリング	レベル
●総合教養科目・キャリア科目									
キャリアセンター	全学年	第3 クォーター	職業と学び-キャリアデザインを考えるA	講義	木・5限	櫻村 志郎	社会で活躍する神戸大卒業生によるリレー講義	U1BB100	初級
キャリアセンター	全学年	第4 クォーター	職業と学び-キャリアデザインを考えるB	講義	木・5限	櫻村 志郎	社会で活躍する神戸大卒業生によるリレー講義	U1BB100	初級
キャリアセンター ボランティア支援室	全学年	第3 クォーター	ボランティアと社会貢献活動A	講義	月・5限	未定	【参考:昨年度】 この授業は、ボランティア活動と社会貢献活動について入門的かつ実践的に学ぶための科目として開講する。ボランティア活動および社会貢献活動の理論と実際について、研究者と実践者双方から成る講師陣によるオムニバス形式で講義を行う。この授業を履修することにより、ボランティア活動と社会貢献活動について、その理論と実際、解決すべき課題などについて、広範かつ実践的な知識を得ることが最終的な目標である。	U1BB100	初級
キャリアセンター ボランティア支援室	全学年	第4 クォーター	ボランティアと社会貢献活動B	実習	月・5限	未定	【参考:昨年度】 この授業は、ボランティア活動と社会貢献活動について入門的かつ実践的に学ぶための科目として開講する。ボランティア活動および社会貢献活動の理論と実際について、研究者と実践者双方から成る講師陣によるオムニバス形式で講義を行う。この授業を履修することにより、ボランティア活動と社会貢献活動について、その理論と実際、解決すべき課題などについて、広範かつ実践的な知識を得ることが最終的な目標である。	U1BB100	初級
取組部局	1~2	通年	グローバルチャレンジ実習	実習	随時	各プログラム実施責任者	1・2年生の1つのクォーターや長期休暇を、「チャレンジターム」として設定し、その期間に学生が国際的なフィールドで学修活動を行うプログラム	U1BB100	初級
学術・産業イノベーション創造本部	全学年	第2 クォーター	社会基礎学 (グローバル人材に不可欠な教養)	講義	集中講義	小高 裕之	産業界・官界・政界トップリーダーによる連続リレー講座 本リレー講義では、社会基礎学とは何かを探求しながら今後の大学生活で身につけるべき知識、教養、想像力や構想力向上を身につける。	U1BB100	初級
学術・産業イノベーション創造本部	全学年	第2 クォーター	企業社会論A	講義	木・5限	鶴田 宏樹	企業の第一線で活躍するゲストスピーカーによるリレー講義	U1BB100	初級
学術・産業イノベーション創造本部	2・3・4年	第1 クォーター	企業社会論B	講義	木・5限	鶴田 宏樹	企業社会・研究生活において重要となる価値創造・生き抜く力の育成	U1BB100	初級
●国際人間科学部									
国際人間科学部	1年次	第1 クォーター	国際開発援助論(JICA)1	講義	木・4限	梅谷 潔 他	外部講師によるオムニバス形式の授業。 本年度はアフリカ大陸を対象とし、実際の実務経験者、技術者などの視点を含めて紹介、現象としての「国際協力・開発援助」について認識を深める。	H1HZ101	初級
国際人間科学部	1年次	第2 クォーター	国際開発援助論(JICA)2	講義	木・4限	梅谷 潔 他	外部講師によるオムニバス形式の授業。 本年度はアフリカ大陸を対象とし、実際の実務経験者、技術者などの視点を含めて紹介、現象としての「国際協力・開発援助」について認識を深める。	H1HZ101	初級
国際人間科学部	1年次	第1クォーター	協働型リーダーシップ論	講義	水・5限	澤 宗則 他	社会の多様な人々と協働しながら、様々な場面でリーダーシップを取り、プロジェクトの達成や問題を解決する能力を養うことを目的とする。	H1HZ101	初級

平成29年度 キャリア科目一覧

学部・研究科	配当年次	開講学期	科目名	授業形式	曜日・時限	担当教員氏名 (代表教員)	備考	ナンバリング	レベル
●国際文化学部・国際文化学研究科									
国際文化学部	1年次	前期	国際文化特殊講義(JICA)	講義	木・4限	JICA職員・梅屋潔	外部講師によるオムニバス形式の授業。 本年度はアフリカ大陸を対象とし、実際の実務経験者、技術者などの視点を含めて紹介、現象としての「国際協力・開発援助」について認識を深める。	C1IZ140	初級
国際文化学部	2年次	前期	国際文化特殊講義(JAXA)	講義	火・4限	JAXA職員・岡田浩樹	国際文化研究の立場から宇宙開発という21世紀の最先端科学技術との関係を考える。 JAXAの研究者による講義と、筑波宇宙研究所での施設見学およびセミナーを予定。	C1IZ140	初級
国際文化学部	2年次	前期	アートマネジメント実習	実習	木・5限	大谷 煥	アートマネジメントの現代社会における意義を実践を通じて学習する。 アートの持つ力を社会に活かすコーディネート力をつける。	C1IZ240	中級
●発達科学部・人間発達環境学研究科									
発達科学部	3年次	前期	生活指導論	講義	集中講義	田中 容子	キャリア教育に関する内容を含む。	D1DK301 D1DL301	上級
発達科学部	3年次	前期	幼児教育内容論	講義	水・1限	北野 幸子	可能な場合、元幼稚園長や指導主事等をゲストティーチャーとしてお招きし、保育実践のお話・模擬保育指導・幼稚園教諭採用試験の対策への助言などをして頂く。	D1DL301	上級
発達科学部	2年次	後期	幼児人間関係指導法	講義	金・2限	北野 幸子	可能な場合、元幼稚園長や指導主事等をゲストティーチャーとしてお招きし、保育実践のお話・模擬保育指導・幼稚園教諭採用試験の対策への助言などをして頂く。	D1DL202	中級
●法学部・法学研究科									
法学部	2~4	前期	特別講義 国際ジャーナリズム I	講義	木・4限	菊池他	読売新聞社の海外特派員経験者からリレー形式で世界各国・地域情勢に関する講義を受ける。取材体験に根ざした政治、外交、安全保障、経済、社会などの解説を聴き、自ら関心のあるテーマを英字ニュースで継続的にフォローすることで、世界の諸問題を認識し、幅広い視野に立って理解する。	J110120	初級
法学部	3~4	前期	特別講義国際報道 I	講義	木・3限	芦田	自分で選択した記事の内容、補足説明を口頭発表し、記事に関連するリサーチペーパーを英文で書くことで、英文解釈力、要約力の向上を目指し、また、調査結果から自分の考えを英語で表現する作文力の向上を目指します。 日本語が第1言語ではない受講生には必要に応じて、日本語力の向上を目指す	J110172	初級
法学部法学研究科	3~4	前期	特別講義 地域ジャーナリズム・ワークショップ	講義	水・4限	多湖	講義は二回を一セットとする。まず、ゲストスピーカーの話聞いた上で、質疑を通じて、その内容を理解することが一回目の講義の主たる内容である。ゲストスピーカーには、兵庫県・神戸市域で活躍する各分野の専門家を招く。その講義から数日以内に、そのテーマに関する簡潔な「記事」の執筆を行うことが、課題として課される。各セットの二回目の講義では、各自が書いた記事を題材としながら、どうすればその質を一層高められるのかを、神戸新聞社の編集委員・記者に指導していただく。その上で、優秀な「記事」については、実際に神戸新聞に署名入りで掲載する。	J110198	初級
法学部法学研究科	3~4	前期	特別講義ジャーナリズムワークショップ1	講義	金・3限	前田	毎回、その授業における発表担当者を一人決める。発表者の説明を聞いた各学生が討論し、論点がどこにあるのか、主張の軸は何なのかを収斂させていく。テーマは政治、経済、地方自治、災害など、社会全般から自ら選定する。講師は討議の集約、ディベート技術の評価や文章の添削を指導。執筆した論文は神戸大学院生の主張として冊子での発行を検討する。必要に応じて新聞社の特派員経験者らを招き講話を聴く。	J110164	初級

平成29年度 キャリア科目一覧

学部・研究科	配当年次	開講学期	科目名	授業形式	曜日・時限	担当教員氏名 (代表教員)	備考	ナンバリング	レベル
●法学部・法学研究科									
法学部	2~4	第1 クォーター	特別講義 法経総合概論	講義	金・1限 2限	高橋他	【授業の概要】法学と経済学の教員がペア(ないしトリオ)になって、法学と経済学が協働して取り組むべき諸課題について、7つのテーマについて授業を行います。 【授業計画】扱われるテーマ・担当教員は以下の通りです(順番は変更される可能性があります) 4月 7日 インTRODクシヨン(高橋・柳川) 4月14日 競争法(池田(千)・水野) 4月21日 不法行為法(古谷・水野) 4月28日 社会保障法(関根・小塩) 5月12日 契約法(田中・座主) 5月19日 労働法(大内・勇上) 5月26日 環境法(角松・島村・竹内)	J110227	中級
法学部	2年次	前期	特別講義 法経連携基礎演習	講義	水・1限	角松	法学と経済学の教員が共同で、法学および経済学の基本的な考え方および分析手法について概説します。あわせて、法令・判例の検索方法および研究論文の読み方の解説と、統計ソフトを用いたデータ分析の実習を行います。具体的には以下の各主題を扱うことを予定しています。 (1)オリエンテーション (2)「法」とは何か・法令の探し方 (3)判例の読み方・探し方 (4)経済学INTRODUCTION (5)-(6)計量経済学入門 (7)-(9)法律案・条例案を作ってみよう (10)-(12)データ分析をやってみよう (13)-(14)法学/経済学文献の探し方	J110208	中級
法学部	3~4	前期	特別講義 問題解決実践研究	演習	水・2限	高橋	【授業の概要】 ・法学と経済学の両方に関連する複合的テーマについてグループ研究をします。 ・複数名を一つのグループとして、2-3週に一度、研究の状況を報告してもらいます。 ・研究テーマは、初回授業時に参加者の希望を聞いた上で決定します。 ・6月末をめどにグループごとの成果をレポートの形にして提出することを求め、7月の授業ではレポートをもとに発表及びディスカッションを行います。 ・グループ研究の成果を踏まえ、期末試験前に、後期に実施する修了研究のプロポーザルを提出してもらいます。 【授業計画】 (1)INTRODUCTION/テーマ選定・グループ分け (2)-(3)研究計画の策定 (4)-(11)各班ごとの分担報告 (12)-(14)レポートに基づくディスカッション (15)まとめ・修了研究へ向けて	J110211	中級
法学部	2~4	後期	特別講義 国際ジャーナリズムⅡ	講義	木・4限	菊池他	読売新聞社の海外特派員経験者からリレー形式で世界各国・地域情勢に関する講義を受ける。取材体験に根ざした政治、外交、安全保障、経済、社会などの解説を聞き、自ら関心のあるテーマを英字ニュースで継続的にフォローすることで、世界の諸問題を認識し、幅広い視野に立って理解する。	J110122	初級
法学部	3~4	後期	特別講義国際報道Ⅱ	講義	木・3限	未定	未定	J110174	初級
法学部法学研究科	3~4	後期	特別講義ジャーナリズムの最前線	講義	未定	未定	未定	J110282	中級

平成29年度 キャリア科目一覧

学部・研究科	配当年次	開講学期	科目名	授業形式	曜日・時限	担当教員氏名 (代表教員)	備考	ナンバリング	レベル
●法学部・法学研究科									
法学部法学研究科	2年次	後期	ジャーナリズムの最前線(高度教養科目)	講義	未定	未定	未定	J110319	上級
法学部	2~4	後期	特別講義 法経連携演習	講義	金・3限	角松	<p>【概要】 法律学及び経済学の論文(「法と経済学」の論文も含む)の中から、学術論文の「型」を把握したり論理展開に慣れる意味で重要な論文をいくつか選び、輪読します。外国語文献を対象とする場合もあります。 各論文の担当者には、レジュメを作成して報告してもらいます。また、12月末をめぐり、2000-3000字のレポートを提出してもらいます。各自が、報告で担当した論文に加えて、関連論文を読み、2つの論文を対比しながら自説を展開するという内容がレポートの基本形となります。冬休み明けには、レポートをもとにして各自に報告してもらいます。</p> <p>【計画】 (1)-(3)イントロダクション、学術論文の読み方、分担の決定 (4)-(11)学術論文の輪読 (12)-(14)レポートの報告 (15)まとめ&法経連携研究の方法</p>	J110210	中級
●経済学部・経済学研究科									
経済学部	2~4	前期	アセットマネジメントの理論と実務	講義	火・4限	日本投資顧問業協会	資産運用の機能や社会的役割を踏まえつつ、「リスク」の概念、資産運用における予測や投資の手法、市場や制度のしくみ等々、資産運用の理論と現場(実際)を学ぶ。アセットマネジメント・ビジネスの実務家・研究者(ゲストスピーカー)の協力を仰ぎつつ、資産運用の世界を概観します。	E1EX301	上級
経済学部	2~4	第1 クォーター	金融・財政および関西経済の現状	講義	水・3限 4限	近畿財務局	わが国の財政の現状や財政健全化への政府の取組や金融システムの特徴と変遷などについて講義します。	E1EX301	上級
経済学部	1~4	第1クォーター	アカウンティング入門講座: 企業会計の仕組み	講義	水・2限	TAC	ビジネスパーソンにとって必須能力である決算書を読み解くための知識を基礎から学ぶ。	E1EX301	上級
経済学部	1~4	第2 クォーター	アカウンティング基礎講座: 企業経営シミュレーション	講義	水・2限	TAC	ビジネスパーソンにとって必須能力である管理会計の知識を基礎から学ぶ。	E1EX301	上級
経済学部	2~4	第2 クォーター	総合商社のグローバル戦略	講義	金・4限	丸紅経済研究所	独特なビジネスモデルを有する総合商社の活動の紹介・解説。	E1EX301	上級
経済学部	2~4	第2クォーター	ビジネスリーダーに学ぶ: 討議と対話	講義	水・3限 4限	東京六甲クラブ	社会で活躍中のビジネスリーダー、或いは第一線で活躍した卒業生による講義と議論・夫々のビジネス分野における成功体験と得難い実践的経験を踏まえた講義の展開と、それに基づく講師・学生双方向の議論を深化させることにより、人生の先輩から英知とその意識形成過程を吸収する。	E1EX301	上級
経済学部	2~4	後期	現代商品市場論	講義	火・4限	東京商品取引所 他	商品市場や制度の仕組み、リスク・リターン等の概念等、資産運用・リスク管理の理論と実際を学習する。市場の実際を考察するために、外国為替市場のインターバンクのシミュレーション・ゲーム(模擬取引)も行う。	E1EX301	上級
経済学部	2~4	後期	関税政策と税関行政	講義	火・3限	神戸税関	貿易の健全な発展と安全な社会の実現に向けた我が国の関税政策・税関行政の取組み及び神戸港の現状について講義を行うとともに、EPA(経済連携協定)などの外部環境の変化に応じた行政の対応手法例を学びます。	E1EX301	上級

平成29年度 キャリア科目一覧

学部・研究科	配当年次	開講学期	科目名	授業形式	曜日・時限	担当教員氏名 (代表教員)	備考	ナンバリング	レベル
●経済学部・経済学研究科									
経済学部	2~4	後期	銀行ビジネスワークショップ	講義	水・3限	三井住友銀行	三井住友銀行グループによるワークショップ型の講義です。	E1EX501	高度教養科目
経済学部	1~4	後期	ビジネス会計入門：キャリア入門講義	講義	水・2限	大原学園	将来、企業人になる前に知っておかねばならない会計分野について講義する。 企業の経済活動、財務諸表の見方・分析の基礎知識に立脚し、将来社会人として生活を営んでいく上で必要なこと、自分の才能を社会に役立てる上で大学時代にやるべきこと・考えるべきことのヒントを与え、自己責任において判断し意思決定できる能力を身につけ、充実させることを目標としている(オムニバス講義です)。	E1EX301	上級
経済学部	2~4	第3 クォーター	グローバル環境における総合商社(ビジネス体験型ワークショップ)	講義	火・3限 4限	双日	総合商社「双日株式会社」による少人数、ビジネス体験型ワークショップとディスカッション主体の授業 ・「双日株式会社」という企業を通じて、「総合商社」を理解する。 ・あらゆる国や地域、産業に接点のある総合商社の活動から、その先の「世界」を知る。 ・「企業」「働くこと」の意味を知る。	E1EX501	高度教養科目
●経営学部・経営学研究科									
経営学部	3・4年次	第1 クォーター	大型放射光施設Spring-8と科学技術イノベーション	講義	水・3限	理化学研究所	近年の科学技術の根源的な変化に伴って、産業界を巻き込みながら行われる科学技術イノベーションの最前線を学ぶことを目的とします。こうしたことを学ぶために本講座では、兵庫県佐用市にある大型放射光施設であるSPRING-8をとり上げます。	B1BB303	上級
経営学部	3・4年次	第1 クォーター	経営品質賞受賞企業に学ぶ経営革新	講義	水・4限	辻本 健二 他	本講座では、全世界で「経営革新」のツールとして普及している米国の「マルコム・ポドリック賞」によるセルフアセスメントの考え方を範とした「日本経営品質賞」の考え方、思考フレーム、それを生かした経営革新の実践について学習する。	B1BB303	上級
経営学部	3・4年次	第3クォーター	広告表示入門講座	講義	水・3限	JARO	この授業では、広告主・民間放送局・広告会社などの広告関係団体などから講師を招くことで、広告業界の最新情報やそれぞれが果たす役割などについて多面的に学ぶことを目標とする。さらに適切な広告表示を目指すうえでの倫理観や自主規制などについても考え理解を深める。	B1BB303	上級
経営学部	3・4年次	第3 クォーター	これからの鉄道経営	講義	水・4限	JR西日本	西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)の事業活動を題材として、人口減少・少子高齢化をはじめとした経営環境の変化の中での鉄道会社の経営戦略の立案と実践方法について学ぶ。	B1BB303	上級
経営学部	3・4年次	第4 クォーター	スペシャリティーファーマの経営戦略	講義	水・3限	マルホ	製薬業界において、皮膚科分野で独自のポジションを築いたスペシャリティーファーマの経営戦略について学ぶ	B1BB303	上級
●理学部・理学研究科									
理学研究科	1~2	前期	特別講義 保険数理	講義	火・2限	松本	保険会社職員による保険・年金事業に用いられる保険数学の概念(仕組み等)についての授業		
理学部	1年次	前期	特別講義 生物学のすすめⅠ	講義	集中講義	篠田・高橋・奥山	外部講師(主に大学教員以外)および生物学科教員による卒業後のキャリア構築の実践についての講話		
理学部	1年次	後期	特別講義 生物学のすすめⅡ	講義	集中講義	山口・織田・野崎	外部講師(主に大学教員以外)および生物学科教員による卒業後のキャリア構築の実践についての講話		
理学部	2年次	前期	特別講義 生物学のすすめⅢ	講義	集中講義	篠田・高橋・奥山	外部講師(主に大学教員以外)および生物学科教員による卒業後のキャリア構築の実践についての講話		
理学部	2年次	後期	特別講義 生物学のすすめⅣ	講義	集中講義	山口・織田・野崎	外部講師(主に大学教員以外)および生物学科教員による卒業後のキャリア構築の実践についての講話		

平成29年度 キャリア科目一覧

学部・研究科	配当年次	開講学期	科目名	授業形式	曜日・時限	担当教員氏名 (代表教員)	備考	ナンバリング	レベル
●医学部保健学科・保健学研究科									
医学部保健学科	4年次	後期	IPW統合演習	演習	集中講義	上杉 裕子	保健学科、医学科、神戸薬科大学学生とともに、それぞれが専門性を発揮し、専門職としての役割を果たしながら、チームの一員としての協働を実践的に学ぶ。保健学科必修科目。	M1NS511	高度教養科目
●工学部・工学研究科									
工学部	1年次～	前期 後期	学外演習(建築学科)	実習	随時	鈴木 広隆 他	学生提案型単位取得科目。プロジェクト企画書、プロジェクト実施レポート提出が必須。	T1AA413	最上級
工学研究科	1年次	通年	インターンシップ I (建築学専攻)	実習	主に夏季休業中	建築計画系・構造系教員	建築事務所に出向き、実際の建築設計活動がどのように大学院で学ぶ学問領域と対応し、それぞれの理論がいかに応用されているかを習得する。インターンシップに関する実習内容の研修記録提出が必須。	T2AA786	発展
工学研究科	1年次	通年	インターンシップ II (建築学専攻)	実習	随時	建築計画系教員	建築事務所に出向き、実際の建築設計活動がどのように大学院で学ぶ学問領域と対応し、それぞれの理論がいかに応用されているかを習得する。インターンシップに関する実習内容の研修記録提出が必須。	T2AA787	発展
工学研究科	1年次	通年	インターンシップ III (建築学専攻)	演習	後期	建築計画系教員	非常勤講師と学内専任教員によるインハウスのインターンシップ	T2AA788	発展
工学部	3年次	後期	学外実習(市民工学科)	実習	夏季休業期間中等	喜多 秀行	土木工学の実際を学ぶ。学外諸機関(企業、官庁他)における実際業務を体験し、土木技術の役割・使命について学ぶのと同時に、将来のあり方について考える。	T1CE314	上級
工学研究科	1年次	前期	特別講義II (企業における研究・開発プロセスの実際) (電気電子工学専攻)	講義	水・4限 5限	JEITA関西支部	わが国を代表するエレクトロニクス・メーカーの各開発担当者から、それぞれの企業における研究開発の実際について講義する。具体的な製品の開発プロセスを例示することで、産業界における研究開発の取り組み方を理解させると共に、エレクトロニクス産業に対する興味・関心を喚起する。	T2EE652	基礎
工学研究科	1～2	前期 後期	インターンシップ(機械工学専攻)	実習	主に夏季休業中	機械工学専攻教員	単位認定には受入先の修了証(様式自由)と報告書の提出が必要	T2MM740	発展
工学部	1年次	前期 後期	ファンダメンタルコースワーク1～4 (応用化学科)	演習		応用化学科教員	大学における学修の意義を知るとともに、プレゼンテーション・工場見学による理解の実践・外国語講読・研究におけるブレーション・先端研究に対する展望と創造力の陶冶など、応用化学を学ぶ上で必要な素養を理解し、自らのキャリアに対してこれから学ぶ専門科目の重要性を理解する。	T1CX102 T1CX103 T1CX104 T1CX105	初級
工学部・工学研究科	学部4年次 及び 修士1年次	前期 後期	特別講義I～IV・特別講義A～D (応用化学科・応用化学専攻)	講義	前期	応用化学科教員	大学や大学院で応用化学を学ぶ目的の1つは、物質や材料に関わる化学分野の学修を通して、様々な産業界における生産活動の中で「モノがわかる」人材として社会で活躍できる人物になる素養を身につけることである。本講義は応用化学科の前身である、旧工業化学科・化学工学科の卒業生を中心に様々な分野・立場で活躍する「モノのわかる人」を非常勤講師に招き、講演会公式で講義を行う。諸先輩の経験やモノの考え方をロールモデルとし、自らの将来に思いを巡らし、「応用化学」を学ぶ意義を再確認することを目的とする。	(I～IV) T1CX480 T1CX481 T1CX482 T1CX483 (A～D) T2CX790 T2CX791 T2CX792 T2CX793	(I～IV) 最上級 (A～D) 発展

平成29年度 キャリア科目一覧

学部・研究科	配当年次	開講学期	科目名	授業形式	曜日・時限	担当教員氏名 (代表教員)	備考	ナンバリング	レベル
●農学部・農学研究科									
農学研究科	3・4年次	前期	地域環境工学現地実習	実習	夏期集中	多田明夫	夏季休業中(8~9月)の約2~3週間、農林水産省、公団、都道府県等の農業農村整備事業を実施している事業所あるいは農村工学研究所等に行き、現地で測量や内業等の各種業務を体験する。	A1AA300	上級
●海事科学部・海事科学研究科									
海事科学部	2年次	前期	最新船用機器・技術概論	講義	火・4限	段 智久 阿部 晃久三輪 謙	船用工業に関連する企業の実務に基づき、開発、設計、製造など具体的な業務内容や船用機器に関する最新技術の概要について、業界の第一線で活躍されている企業担当者が講師となって講義を行う。また、講義の一環として、船用機器関連会社がブース形式で製品や業界の動向などの説明を行う「船用工業説明会」を開催する。	W1WW120	初級
海事科学部	2年次	後期	海運企業のトップマネジメントへの途	演習	木・4限	廣野 康平	「海事関連産業の“今”と自分自身への“課題”」をグランドテーマとし、海事関連産業を対象とした調査の企画と実施、報告という活動を半期を通じて行う。活動への寄与、責任の軽重、設定した目標の達成具合等を基準とし、学生相互の評価も考慮する。	W1WW120	初級
海事科学部	3年次	前期	海事産業社会事情	講義	木・3限	世良 亘 藤本 昌志 真輝	この講義では、海運を中心とする海事産業界の実務に関する情報、現状の海事産業界が学生に何を求めているか、海事産業界の将来動向等について、各界から著名な実務者を招き生きた情報を提供する。	W1WW130	初級
●国際協力研究科									
国際協力研究科	前期課程後期	前期後期	インターンシップ	学外実習	随時	国際協力研究科教員	学生の教育研究やキャリアパス開拓に資する就労、実務経験として、インターン受入機関・企業等の指導と監督の下、一定期間学生が研修を行うもの。インターンシップ報告書及び評定書に基づき成績評価を行う。	I2GJ702 I3GJ802	発展
国際協力研究科	全学年	前期	国際公務員養成論	講義	集中	国際協力研究科教員	国際公務員をキャリアとして希望する大学院生が、国際公務員に必要なコンピテンシーとキャリアパスの詳細について学び、自己のコンピテンシーの評価と能力構築プランの作成ができるようになることを目的とする。	I2GJ702	発展